

JVA REPORT

6

'13 JUNE
NO.158

MAIN REPORTS

- ビデオソフト市場規模及び
ユーザー動向調査2012 結果報告
- 2012年度違法対策部会活動報告と
2013年度の活動方針について

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

一般社団法人 日本映像ソフト協会 会報

〒104-0045 東京都中央区築地2丁目12番地10号(築地MFビル26号館3階)

電話:03-3542-4433 FAX:03-3542-2535 <http://www.jva-net.or.jp>

編集・発行 一般社団法人 日本映像ソフト協会

2013年6月10日発行



ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査2012 結果報告	2
第322、323回定例理事会開催報告	6
2012年度違法対策部会活動報告と2013年度の活動方針について	7
違法対策活動報告	9
国際部会 開催報告	9
『JVA BOOK 2013』発行について	10
第37回 JVA懇親ゴルフコンペ開催報告	10
コンテンツ海外流通促進機構 2013年度定時社員総会の開催報告	11
NEXT	12
リレーエッセイ ^⑩	13
日誌に見る協会の動き	13
月間売上統計（3月、4月）	14
主要耐久消費財普及率	14

ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査2012 結果報告

統計調査委員会（八十河恒治委員長（株）ポニーキャニオン）は、本年1月に「ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査」を実施し、その結果を4月17日（水）に記者発表するとともに、協会ホームページ内の下記のURLにおいてその結果を一般に公表した。

(http://www.jva-net.or.jp/report/annual_2013_4-17.pdf)

調査実施の概要は以下のとおり。

調査対象：全国に居住する満16歳から69歳の男女で、インターネット利用者
 調査時期：2013年1月
 調査対象期間：2012年1月～12月
 調査方法：インターネット調査（ただし、回答者がインターネット利用者であることの偏りを是正するため、補正計算を施し、インターネット非利用者の傾向も反映させる手段をとっている。詳細については上記URLの報告書6ページを参照のこと）
 回収サンプル数：1,189票
 企画分析：株式会社文化科学研究所
 調査実施：株式会社ビデオリサーチ

〈調査結果〉

●2012年のビデオソフト(DVDとBD)市場規模は、4,802億円(前年比95.6%)

中長期的に見て、マーケットの減少傾向が続いている。そのうちセル市場は2,413億円（同97.3%）、レンタル市場は2,389億円（同94.0%）と推計され、いずれの市場も前年を割り込むこととなったが、セル市場よりもレンタル市場のほうがやや落ち方が大きかった。セル市場におけるDVDとBDの割合は66対34（前年72対28）、レンタル市場で92対8（前年91対9）となり、BDのシェアはセル市場においては拡大しているものの、レンタル市場で伸び悩んでいる様子がみてとれる。（図1、2）

●2012年のビデオソフト購入率は19.3%

ビデオソフトの購入率は19.3%で、2.3%の減少となった。ビデオソフトの年間平均購入枚数は前年の3.9枚から3.8枚（-0.1枚）に、年間購入金額も15,706円から14,720円（-986円）と低下したが、前年の低下率（-1.6枚、-7,664円）に比べると穏やかな減少にとどまった。（図3、4）

図1.ビデオソフト(DVD&BD)市場規模の推移

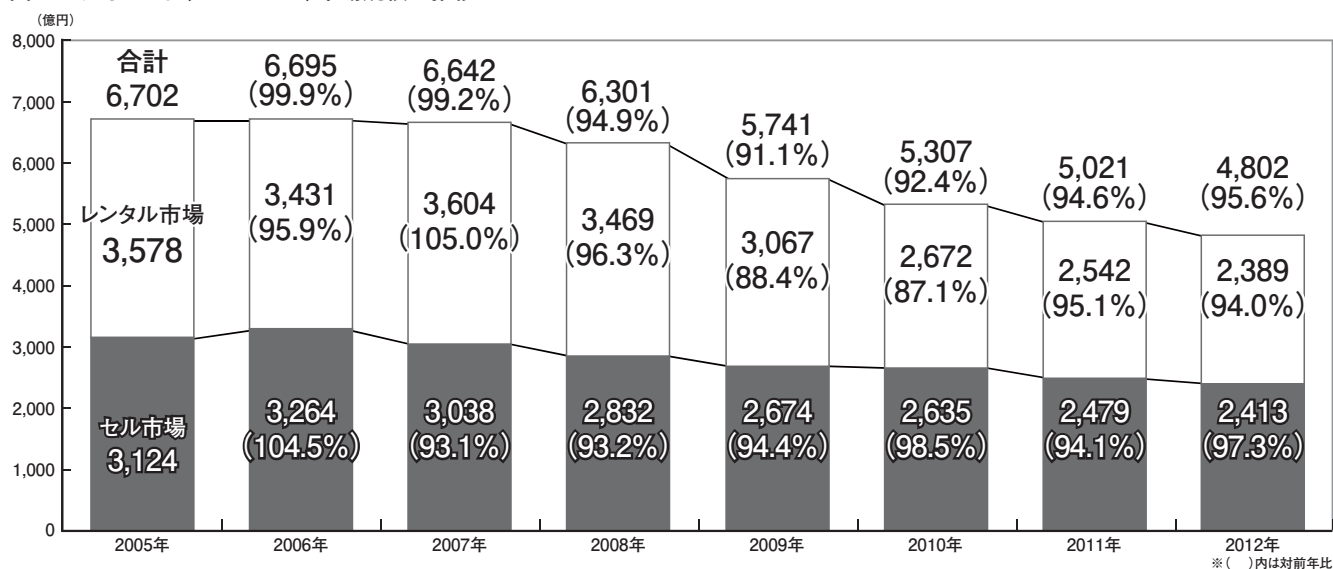
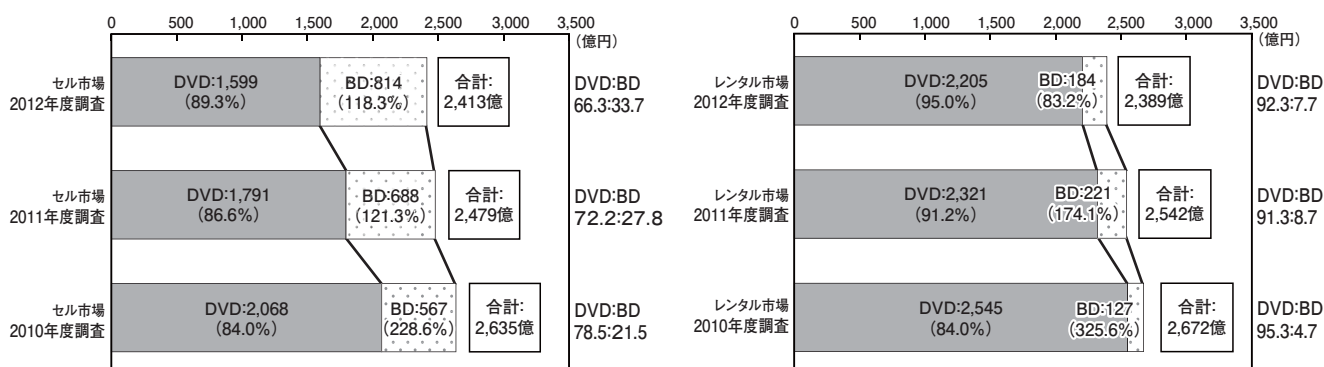


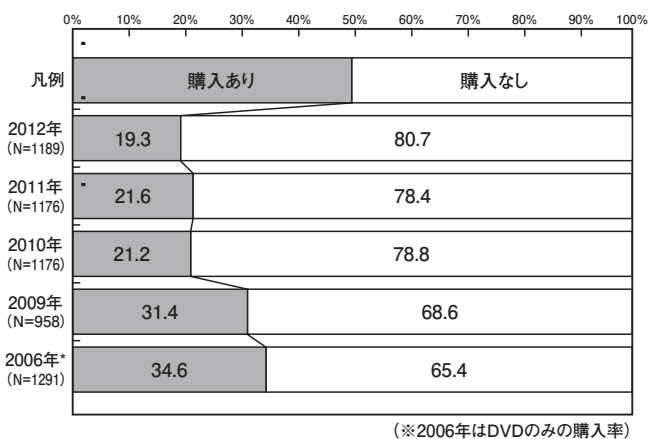
図2.セル及びレンタルのフォーマット別市場規模



●購入が減った理由…ほしいソフトが減ったから

ビデオソフトの購入枚数が減った理由としては、昨年2番目であった「欲しいと思うようなソフトの発売が減ったので」が最も高く32.1%、次いで昨年トップの「お金の余裕がなくなったため」が31.6%。特にポイントを伸ばしたのが「ネットの無料動画やファイル交換ソフトを利用すれば十分だから」で2.8%から13.4%へと大幅に伸びた。インターネットによる無料動画配信サービスの視聴による影響が今後懸念される結果である。(図5)

図3.ビデオソフト(DVD&BD)の購入率の推移



●オンラインショップからの購入が最も利用率が高い

ビデオソフトの購入ルートでは、前年とあまり大きな変化はなかった。「インターネットのオンラインショップ」の割合が60.1%→61.8%、CDショップ(レコード店)の割合が12.1%→14.2%に増えた。対して、家電量販店が14.6%→11.4%、ホームセンター・ディスカウントショップが3.9%→0.4%、通信販売が7.6%→4.8%と減少している。(図6)

図4.ビデオソフト(DVD&BD)の年間平均購入枚数・金額

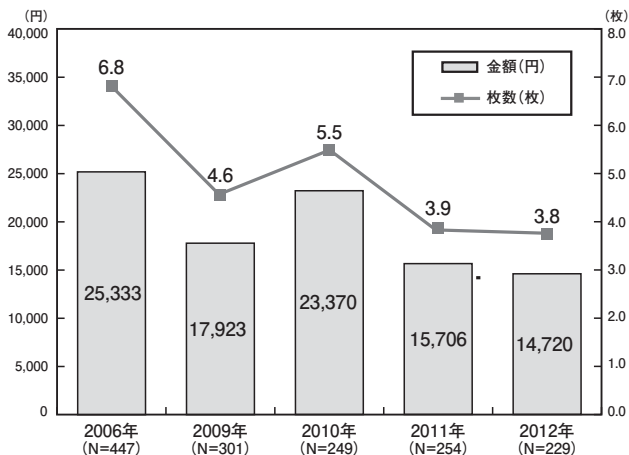


図5.ビデオソフトの購入枚数が減った理由

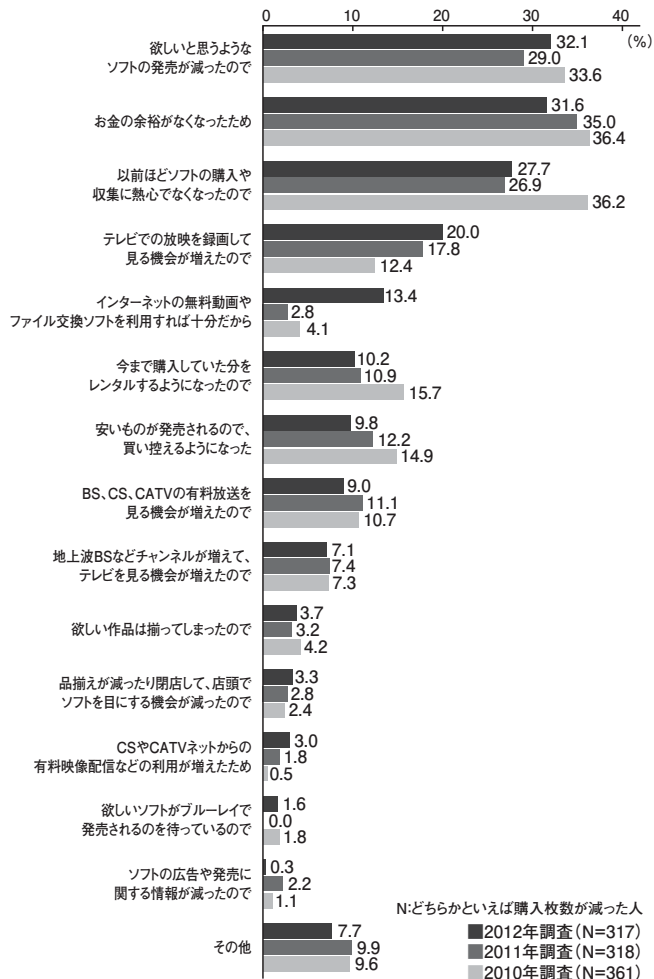
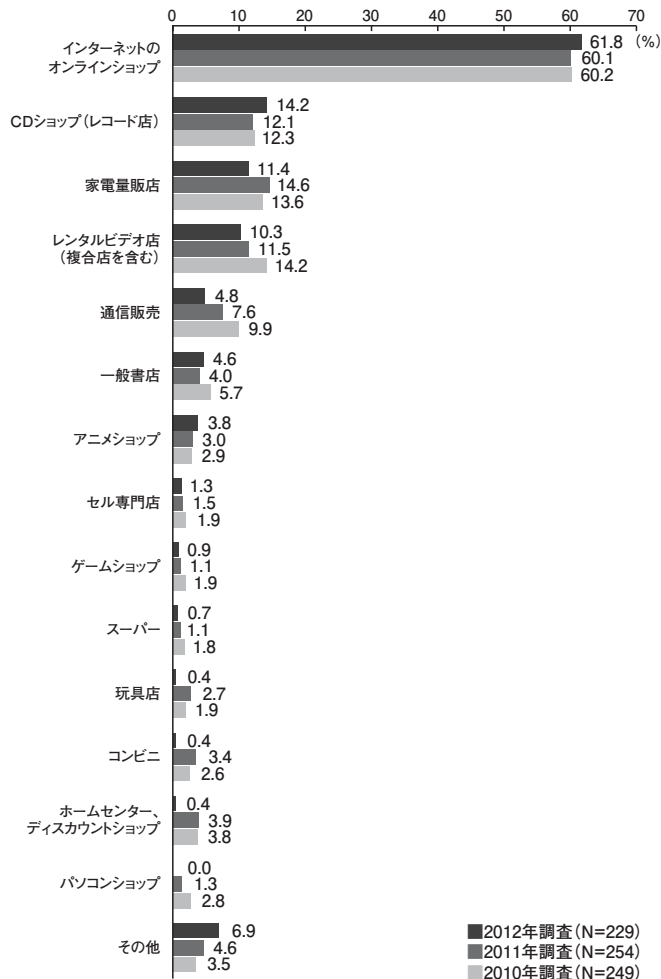


図6.ビデオソフト(DVD&BD)のルート別購入率



●ヘビーユーザーの構造に変化が

年間3万円以上ビデオソフトを購入するヘビーユーザーは前年の3.2%から2.5%に減少し、この層の購入金額がセル市場全体に占める割合は前年の55.4%から43.3%へと低下した。(図7) ヘビーユーザーの年間購入枚数は12.5枚から9.8枚へ、金額は59,479円から48,650円へ減少することとなり、今年度もセル市場の量的縮小に影響した。

また、ヘビーユーザーを男女別に見てみると、女性比率が前年の31.7%から39.8%に増加。「給料労務・販売・

サービス職」の割合が28.3%から15.6%に激減、反対に「無職・その他」「主婦」「大学生・専門学校生・予備校生」「高校生」が増加。購入したジャンルでは、「日本のアニメーション」「日本の映画」「アダルト(アニメ含む)・イメージ・アイドル」の購入率が減少し、「日本の音楽ビデオ」「演劇・芸能・お笑い・バラエティ」の購入率が増加。年間3万円以上購入のヘビーユーザーの構造に変化が起きていることがうかがえる。(図8、9、10、11)

図7.セルビデオソフトのヘビーユーザー(年間3万円以上購入者)の割合及び全ユーザーの購入総額に占める割合

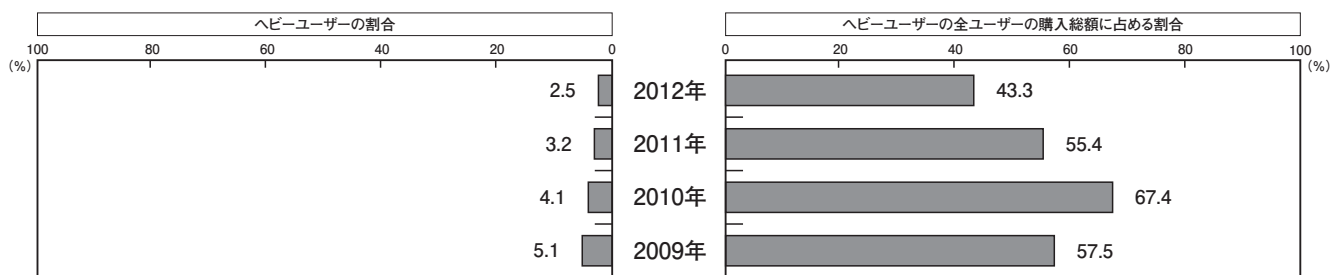


図8.ヘビーユーザー(購入3万円以上)の年齢構成

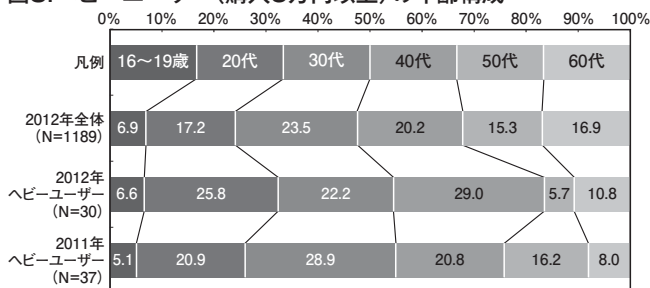


図9.ヘビーユーザー(購入3万円以上)の男女比

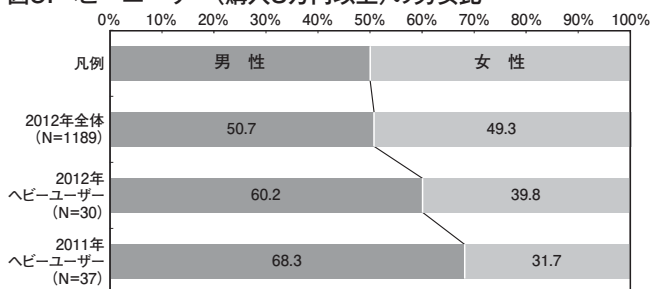


図10.ヘビーユーザー(購入3万円以上)の職業構成

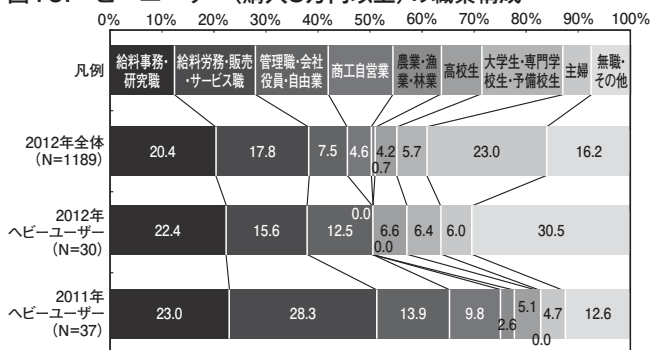
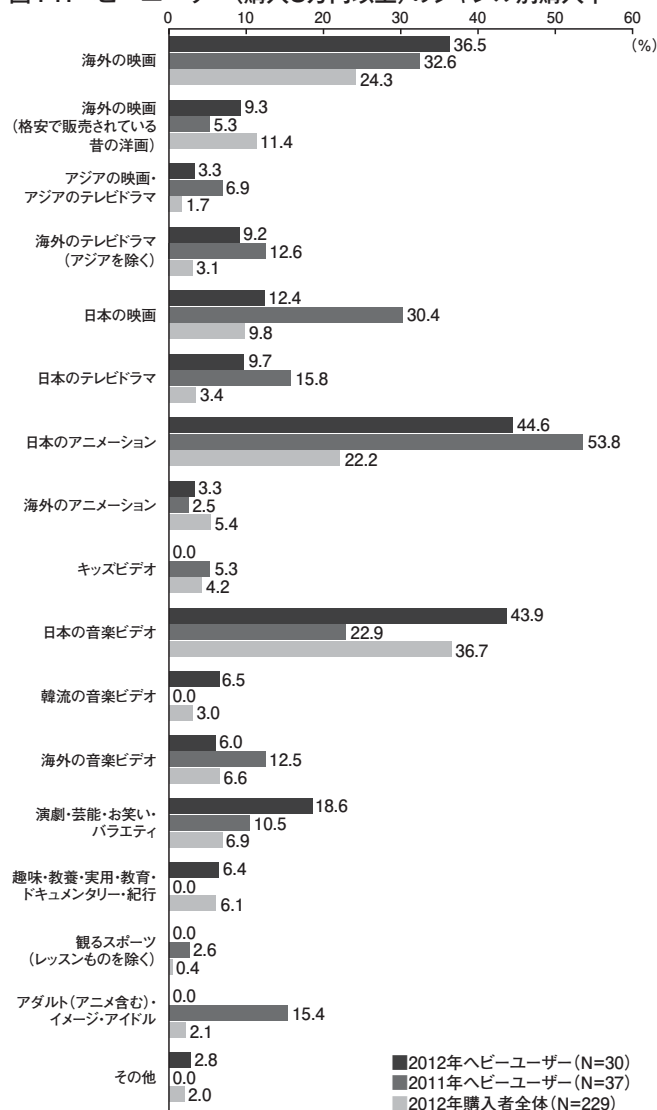


図11.ヘビーユーザー(購入3万円以上)のジャンル別購入率



●ビデオソフトのレンタル利用率は微減

ビデオソフトレンタルの年間利用率は39.0%で前年よりも0.9%の減少となったが、年間平均利用枚数は29.0枚（前年からプラス3.9枚、前年比115.5%）と2年連続して上昇している。ただし年間利用金額は4,530円（前年からマイナス185円、前年比96.1%）とやや減少した。これはレンタルサービス供給側の低価格戦略に影響された動きとみられる。（図12、13）

●レンタル枚数が減った理由は、「時間がない」「見たいソフトが減った」「返却が面倒」の順

レンタル枚数が減った理由は、「ビデオソフトを見る

時間のゆとりがなくなったので」（前年31.8%→当年29.0%）が昨年に引き続きトップの理由となっているが、「見たいソフトが減ったので」は前年の20.0%から24.7%に上昇し2番目の理由となった。「テレビの放送を録画して見る機会が増えたので」は21.1%→22.0%と相変わらず高い理由となっているが、「チャンネルが増えて、テレビを見る機会が増えたので」（19.5%→15.3%）、「BS、CS、CATVの有料放送を見る機会が増えたので」（12.8%→10.7%）と、テレビの視聴環境変化による影響は薄らいだように見える。一方で、「CSやCATV、ネットからの有料映像配信などの利用が増えたため」が1.8%→4.4%と小さいながら増加が見られた。（図14）

図12.ビデオソフト(DVD&BD)のレンタル利用率(レンタル全体)の推移

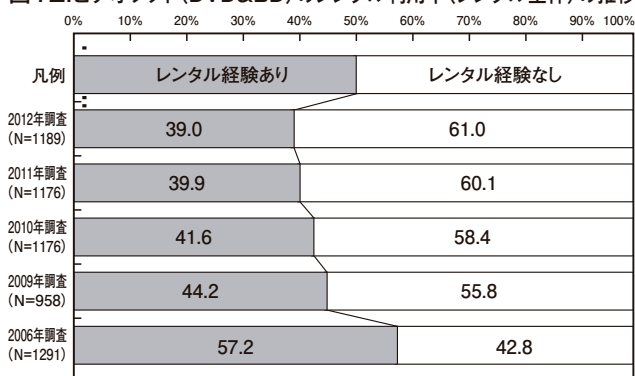
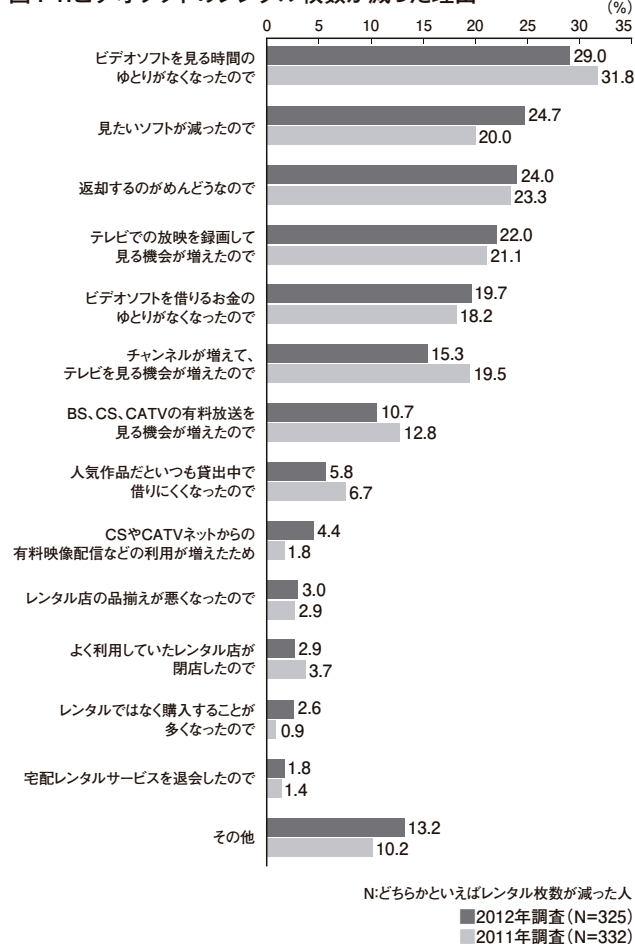


図13.レンタルビデオソフトの平均利用枚数と金額の推移

	回答者数	利用者の平均枚数	利用者の平均金額	1枚あたりの単価
2012年調査	1,189	29.0枚	4,530円	156.2円
2011年調査	1,176	25.1枚	4,715円	188.1円
2010年調査	1,176	24.1枚	5,314円	220.5円
2009年調査	958	28.6枚	6,887円	240.8円
2006年調査	1,291	22.6枚	5,576円	246.7円

図14.ビデオソフトのレンタル枚数が減った理由



●BD所有率は高まるものの、BDソフトの購入率の上昇にはならず

BD機器の所有率は前年の50.7%から57.0%に伸長したが、BD再生機器所有者のうち、BDソフトを購入した人は12.8%から13.1%の微増にとどまる。（図15、16）

図15.BD機器の所有率

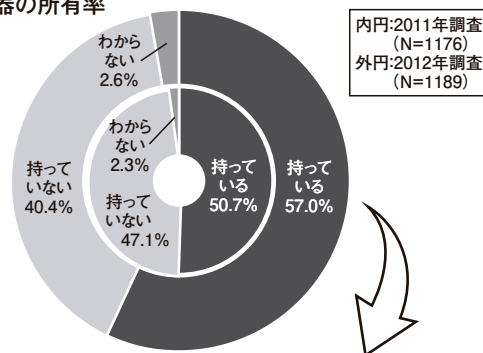
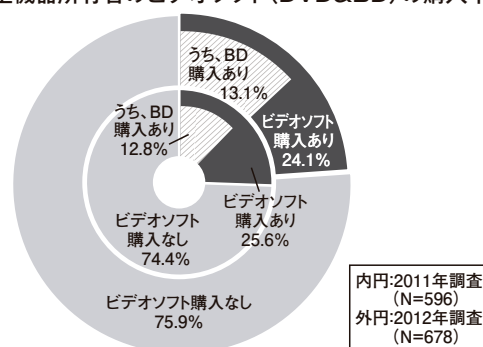


図16.BD再生機器所有者のビデオソフト(DVD&BD)の購入率



●有料の動画配信サービスの利用者は4.3%

「BSやCATV・光回線経由の有料放送サービス」を利用した人は20.1%、「有料動画配信（VOD・ストリーミング）サービス」の利用は4.3%にとどまっている。「無料の映像配信サービス」は51.8%が利用しており、無料のBSデジタル放送の47.6%を超えている。（図17）

有料VODサービスの一人あたり年間利用金額の平均は6,312円（お試し無料期間等を含めず）となったが、年間千円から2千円未満の利用者の構成が大きい（19.2%）、1万円から1万5千円未満の利用者の構成も大きくなって（13.2%）。（図18）

図17. 普段視聴している映像サービス

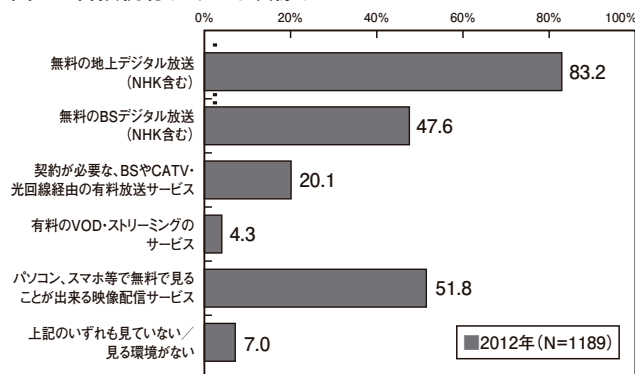
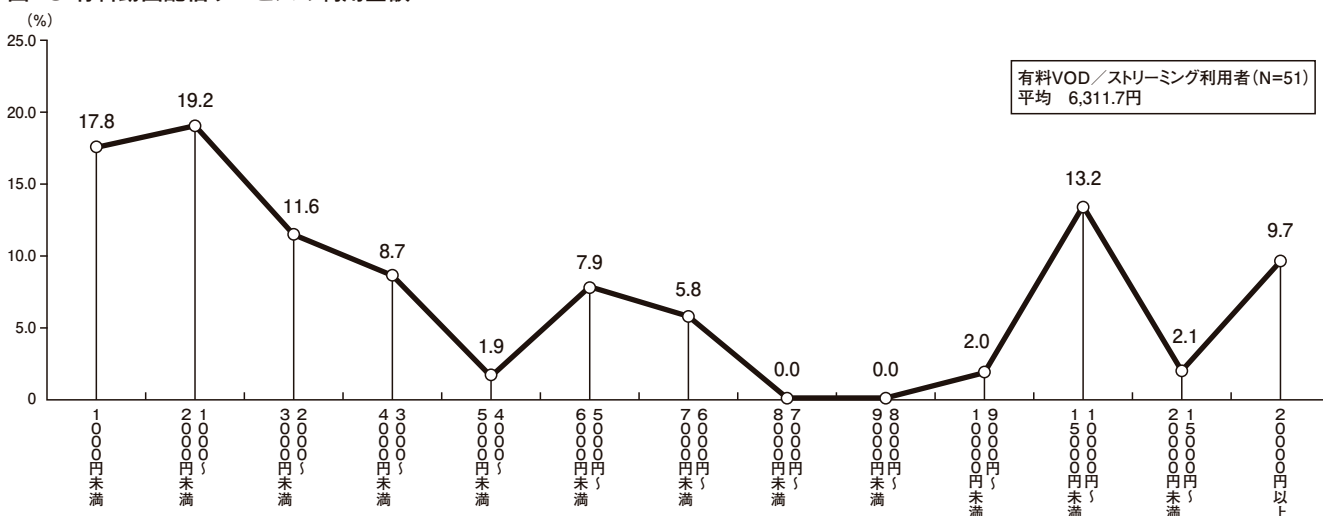


図18. 有料動画配信サービスの利用金額



第322、323回定例理事会開催報告

第322回定例理事会は、4月2日（火）午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

<決議事項>

- 第1号議案 2012年度事業報告書（案）承認の件…承認
- 第2号議案 「CEATEC JAPAN2013」に対する協賛名義使用承認の件…承認
- 第3号議案 「第19回ブロードバンド特別講演会」に対する共催名義使用承認の件…承認

その他、報告事項は次の通り。

各部会・委員会報告について、「知的財産推進計画2013」及び「知的財産政策ビジョン」についての提出意見について、「ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査2012」について、2013年3月度ビデオソフト売上速報について

第323回定例理事会は、5月14日（火）午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

<決議事項>

- 第1号議案 2012年度計算書類（貸借対照表及び正味財

産増減計算書）及び同附属明細書（案）承認の件…承認

- 第2号議案 公益目的支出計画実施報告書（案）承認の件…承認
- 第3号議案 役員候補者（案）承認の件…承認
- 第4号議案 2013年度通常総会開催の件…承認
- 第5号議案 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に対する協賛名義使用承認の件…承認
- 第6号議案 「第25回DVD&ブルーレイで一た大賞」に対する後援名義使用及び会長賞設定承認の件…承認
- 第7号議案 「IMC Tokyo 2013」に対する後援名義使用承認の件…承認
- 第8号議案 2013年度昇給（案）承認の件…承認
- 第9号議案 2013年度上期賞与支給（案）承認の件…承認
- 第10号議案 映像配信統計の実施について…承認

その他、報告事項は次の通り。

各部会・委員会報告について、2013年3月度ビデオソフト売上速報について

2012 年度違法対策活動報告と 2013 年度の活動方針について

4月8日（月）、当協会会議室において、違法対策部会が開催された。当日は、大谷信義部会長（松竹㈱代表取締役会長）をはじめ、在京の委員の他、地区連絡協議会からも幹事のメンバーにお集まりいただき、2012年度の違法対策活動の報告と2013年度の活動方針が承認された。

◇2012年度活動実績

1. 調査・警告活動

2012年度は、1都1道2府37県のレンタル店1,121店について調査活動を実施した。その結果、廃業等689店を除く432店中、海賊版DVD所持1件（所持枚数51枚、回収枚数51枚）、セル用DVDのレンタル転用154件の違法行為を確認した。違法行為確認率は36%（海賊版所持確認率0.2%）となった。

また、関西、中部の各連絡協議会のメンバーと共にレンタル店啓発キャンペーンを下のように実施した。

●関西地区

9月13日、大阪府下のレンタル店8店の調査・折衝を実施した。その結果、廃業等2店を除く6店中全ての店においてセル用DVDのレンタル転用が確認された。

●中部地区

11月15日、福井県下のレンタル店3店の調査・折衝を実施した。その結果、全ての店においてセル用DVDのレンタル転用が確認された。

2. 刑事告訴・摘発活動

刑事告訴による警察の摘発は、1道1府18県で26事件が行われ、44件の告訴状が受理され、強制捜査により、海賊版DVD7,913枚等が押収された。事件の内訳は、違法アップロード（20件）、ネットオークション（2件）、韓国雑貨販売店（1件）、ネットカフェ（1件）、漫画喫茶（1件）、映画盗撮（1件）であった。

[摘発事例1]

10月22日、福島県警は、仙台市や福島市の映画館で映画を盗撮したとして、映画盗撮防止法違反と著作権法違反の容疑で男を書類送検した。その後、福島区検は、12月27日、福島簡裁に略式起訴し、同月28日、罰金30万円の略式命令を出した。

[摘発事例2]

12月21日、青森警察署は、青森市の文化観光交流施設において海賊版DVDを販売していた韓国雑貨販売店を捜索（任意）し、海賊版DVD105枚等を押収した。この販売業者は、韓国タレントグッズ（DVD、CD、ポスター、ステッカー、マグカップ）等を全国各地のレンタルスペースを貸り、移動販売していた。

[摘発事例3]

1月28日、羽咋警察署は、羽咋市の漫画喫茶を捜索し、海賊版DVD7,500枚等を押収した。同店では、店内で飲食した客に対して、無料で海賊版DVDを貸し出していたもの。

3. インターネット関連

(1) 調査・啓発活動

●ファイル共有ソフトネットワークの監視

ファイル共有ソフトWinny（ウィニー）及びShare（シェア）を対象に、映画作品データ公開者特定に係る調査を外部業者に委託し実施した。調査対象の映画作品は劇場公開後間もないものに絞り、劇場盗撮されたデータの流通を早期捕捉するのが主旨であるが、昨年度に引き続き、本年度も1件も検知されなかった。

(2) 刑事告訴・摘発活動

[摘発事例1]

●ファイル共有ソフト等を使用した著作権法違反事件全国集中一斉取締り

全国の47都道府県警察は、ファイル共有ソフト等を通じた、映画、音楽、アニメ、ゲーム、ビジネスソフトなどの著作権法違反事件について、平成25年2月19日から21日までの間に集中一斉取締りを実施し、全国で124箇所を捜索、27人を逮捕（2月22日午後6時現在）した。JVAはそのうち、14県における取締りに協力し、10件の告訴状がそれぞれ受理されている。ファイル共有ソフトを使用した著作権法違反の一斉取締りは、平成21年から実施され、今回が4回目となる。前回、平成23年12月に実施された一斉取締りと同じく、この度の一斉取締りも47都道府県すべての警察で行われた。このように、同種事犯の効果的な取締りが今後も全国規模で継続され、また一層推進されることが期待されている。

[摘発事例2]

●アニメの違法アップローダー「神」と「エンコ職人」を検挙

9月24日、山口県警、栃木県警の合同捜査本部は、ファイル共有ソフトP2P「Share」を使い、インターネット上で不特定多数の者がアニメーション作品をダウンロードできる状態にしていたとして、著作権法違反の疑いで2人を逮捕した。このうちの1名は、アニメーション作品のパッケージ発売直後に動画をネット上に公開するため、愛好家の間で「神」と呼ばれていた。もう1名は、動画ファイルを圧縮（エンコード）し、ネット上に公開をしていた。同被疑者等は、アニメーション作品600点以上を違法アップロードしていたとみられている。

表1.2012年度 違法対策活動実績

調査店数		1,121店	海賊版回収数	51枚
営業店数		432店	刑事告訴事件数 (告訴状提出件数)	28件 (22件)
違法行為 確認件数	海賊版所持	1店	警察による 海賊版押収数	7,913枚
	セル用商品の レンタル転用	154店	違法行為確認率	36%
海賊版確認数		51枚	廃業率	62%

◇2013 年度 活動方針

映像ソフトに係わる著作権侵害行為に対して、早期確認と早期防止に向けた研究・対応に尽力していくものとする。悪質な侵害行為者に対しては、積極的に法的処置を講ずるものとする。

2013年度、対象とする侵害行為等としては、

- ◎ファイル共有ソフトを悪用した公衆送信権侵害
 - ◎インターネット販売、オークションによる海賊版の売買
 - ◎レンタル店による海賊版頒布、セル用DVDのレンタル転用
- 項目別の活動方針は下記のとおりである。

1. 調査・警告活動

レンタル店に対して過去の調査データを基に、効果的な調査・警告活動を実施するとともに信憑性の高い外部情報に対して迅速に対応していく。

違法アップロード、インターネット販売、オークションサイトに対して、その監視を強化する。

2. 法的手続き

侵害等について、その早期解決に向け関係者及び関係

機関等と協議を行っていく。悪質な事例については、刑事・民事により法的措置を講じていく。

3. 警察との連携

警察庁をはじめ、全国の都道府県警察の捜査関係事項照会、鑑定嘱託、捜査協力依頼については、迅速に対応していく。

4. 地区連絡協議会との連携

各地域における違法実態等について、最新かつ正確な情報の提供を仰ぐものとする。同時に各地で開催される地区連絡協議会に積極的に参加して情報交換に努めていく。

5. 関係諸団体との連携

日本国際映画著作権協会（JIMCA）、日本映画製作者連盟、コンテンツ海外流通促進機構（CODA）等と連絡を密接にして、違法対策活動を進めていく。

6. 広報・啓発活動

業務使用対策委員会並びに不正商品対策協議会を通じて、広く一般に知的財産権の保護と不正商品の排除について広報・啓発活動に努めていく。

表2.調査・警告活動（都道府県別）

調査地区	調査店			計	海賊版所持店		計	海賊版確認数	海賊版回収数	セル用商品のレンタル転用
	許諾店	無許諾	廃業等		許諾店	無許諾				
北海道	9		12	21						3
青森県	11		5	16						4
岩手県	2	1		3						2
秋田県	7	3		10						5
宮城県	9			9						1
山形県	3		2	5						
福島県	6		1	7						2
東京都	7		213	220						4
神奈川県	13		64	77						2
千葉県	10		63	73						3
埼玉県	29	1	54	84						5
群馬県	6		1	7						4
新潟県	3		2	5						1
石川県	6		2	8						
福井県	7	4		11						9
富山県	1	2	2	5						2
静岡県	18		11	29						1
長野県	7		3	10						
愛知県	14		15	29						
岐阜県	6		2	8						2
三重県	7	4	13	24						
京都府	1			1						1
大阪府	22	15	27	64						22
兵庫県	10	2	15	27						4
奈良県	7	1	4	12						1
和歌山県	8	5	10	23						5
岡山県	6		5	11						
広島県	1			1						
山口県		1		1						1
鳥取県	7		4	11						
島根県	2		1	3						
愛媛県	10		8	18	1		1	51枚	51枚	6
香川県	2		8	10						1
徳島県	4		1	5						
福岡県	26	15	43	84						20
佐賀県	6			6						4
熊本県	13	3	2	18						14
長崎県	2	1		3						2
大分県	17	4	36	57						5
宮崎県	21	3	29	53						7
鹿児島県	18	3	31	52						11
合 計	364	68	689	1,121	1	0	1	51枚	51枚	154

3月、4月度の違法対策活動報告

3月、4月度は、埼玉県、東京都、山梨県、福井県、富山県、岐阜県、愛知県、滋賀県、大阪府、兵庫県、広島県、大分県、宮崎県の220店の調査・折衝を実施した。

調査結果は、廃業等128店を除いて、実質的に営業していた72店のうち、セル用DVDをレンタルに転用していた21件の違法行為が確認された（違法行為確認率29%）。

3月～4月 実地調査による調査実績

調査店	220店
営業店数	72店
違法行為 確認件数	海賊版所持 0件 セル用商品のレンタル転用 21件
海賊版確認数	0枚
刑事告訴事件数	9件
警察による海賊版押収数	DVD 300枚
違法行為確認率	29%

調査状況一覧表

調査地区	内 訳			海賊版・サンプル版頒布所持			セル商品のレンタル転用
	許諾店	無許諾	廃業等	所持店	確認数	回収数	
埼玉県	15		14				3
東京都	2		73				2
山梨県	1	2	9				2
福井県	1						1
富山県		1					1
岐阜県	1						1
愛知県	11		8				
滋賀県	9		5				
大阪府	3	4					5
兵庫県	5	2	3				3
広島県	7		9				
大分県	4	2	7				1
宮崎県	1	1					2
合 計	60	12	128	0	0	0	21

国際部会

国際部会 開催報告

2013年度の国際部会が4月24日、JVA会議室において開催された。川城和実部会長（バンダイビジュアル(株)代表取締役社長）の開会挨拶に続き、事務局から以下2項目の報告したのち意見交換等を行った。

1. 「ジャパン・コンテンツ ローカライズ&プロモーション支援 助成金」（J-LOP）に関して：

経済産業省・総務省が連携して実施する、コンテンツ海外展開等促進支援施策の一環としたこの助成金は、海外展開に必要な映像素材のローカライズやプロモーションへの支援等、日本のコンテンツの海外発信に対する総合的な支援を実施することにより、日本ブーム創出に伴う関連産業の海外展開の拡大、観光等の促進につなげることを目的としている。（詳細については、前号『JVA REPORT No.157』6ページ参照）

2. CODA（一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構）の活動に関して：

本部会にオブザーバーとして出席いただいたCODA永野

常務理事・事務局長、坂田事務局担当部長より、「CODAの著作権侵害対応と正規流通促進への取組」として以下のプレゼンテーションが行われた。

1. 共同エンフォースメントの成果として、中国、香港、台湾の3カ国において、2012年3月までに13,296件の取締りが実施され、逮捕者3,490名、6,502,363枚の海賊版DVD等が押収されている。2013年3月には、台湾において、日本コンテンツ専門の海賊版販売に係わり、初めて海賊版製造拠点が摘発された。

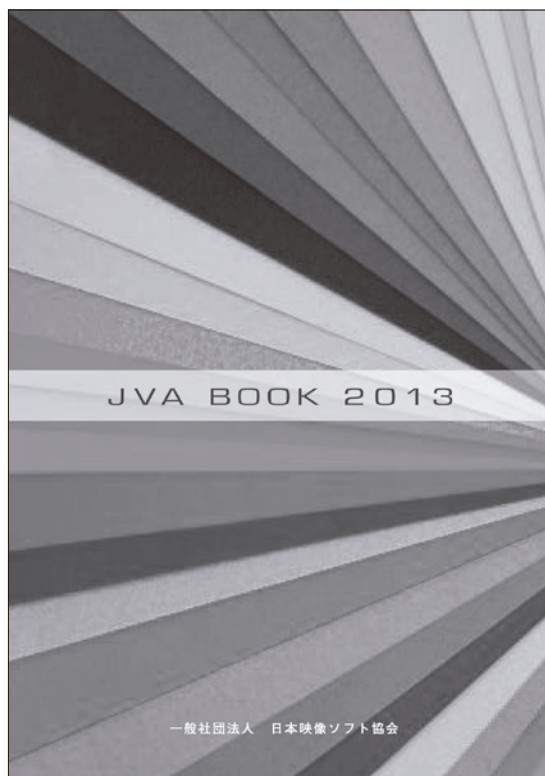
2. 違法配信対策として2009年度より中国、韓国などの違法投稿動画への削除要請通知機関として設置された「自動コンテンツ監視・削除センター」（仮称）が、順調に稼働し、削除要請に対して、ほぼ100%削除される様になった旨の報告があった。2012年度は、27社・1団体からの延べ656作品を対象として運営されている。

委員各位との意見交換では、CODAの侵害対策と正規流通促進に対する質問と意見が集中した会議となった。

『JVA BOOK 2013』 発行について

広報委員会（田中 勇委員長 キングレコード㈱）では、JVAの広報誌『JVA BOOK 2013』を5月30日に発行した。これは、ビデオソフトの著作権について広く一般に広報するために著作権についての解説をQ&A方式でまとめた記事と、統計調査など2012年度中にJVAが実施した各種マーケティング調査の結果について簡潔にまとめたレポートを一冊にまとめたもので、業界内外を問わず、ハンドブック的に利用していただくことを目的としている。特に、本年の『JVA BOOK』では、ビデオソフトの著作権に関して、これまでの記述をさらにわかりやすく解説した文章に大幅改訂している。

『JVA BOOK』は、会員社の皆様には日々のビジネスの中で実用的にお使いいただいているほか、新入社員などの研修用資料としてもご活用いただいている。また一般向けとしては、文化庁主催の著作権セミナー参加者への資料として配布されるほか、警察大学などで受講警察官の研修用資料として毎年ご活用いただいている。さらには、ビデオソフトの利用に関し、協会にお問い合わせいただく皆様へ参考資料として無料で配布しているほか、全国のJVAレンタルシステム加盟のビデオレンタル店全店にも毎年、無料配布している。



（A4版、40ページ）

イベント

第37回 JVA懇親ゴルフコンペ開催報告

去る4月19日（金）、恒例のJVA懇親ゴルフコンペが開催された。今回は会場を、これまで長らく利用していた立野クラシックゴルフ倶楽部から、千葉県成田市の「ゴルフ倶楽部 成田ハイツリー」に変更し、気分も新たに、出席者43名を迎え盛大に開催することとなった。

三寒四温の春まっ只中でもあり、当日はやや肌寒い風が吹く天候であったが、半袖姿でコースを回る方も散見されるなど、参加者全員、元気いっぱいの笑顔でプレーされていた。

優勝は、東映ビデオ㈱代表取締役社長の間宮登良松氏が勝ち取った。同氏は、本大会2度目の優勝となる。また準優勝は、昨年に引き続きメモリーテック㈱の中村達司氏が、3位にはTCエンタテインメント㈱の永田守氏が続いた。さらに、ベストグロス賞も昨年に引き続き2度目となるバンダイビジュアル㈱の河野聡氏がグロス84の見事な成績で獲得した。

プレー終了後は、成績発表会を兼ねた懇親会が催され、参加者は互いの健闘を称えあっていた。

▼優勝した間宮登良松氏（東映ビデオ㈱）と桐畑敏春会長（右）



▼プレー終了後の懇親会場の様子



2013 年度定時社員総会の開催報告

5月29日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において、2013年度の定時社員総会及び第2回理事会を開催した。

定時社員総会では2012年度の事業報告と決算、2013年度事業計画書及び収支予算書がそれぞれ承認されたほか、新任5名を含む17名の第3期役員が選出され、総会後の第2回理事会で、代表理事及び副代表理事の互選が行われた。

昨年中に創立10周年を迎えたCODAでは、昨年度も海賊版の取り締まりや動画投稿サイト対策などで引き続き成果をあげた。このうち、MPA（米国映画協会）と連携した共同エンフォースメント事業では、中国・香港・台湾での摘発成果は、取り締まり954件、逮捕者74名、押収DVD等144,183枚であった。

特に台湾では、日本コンテンツ専門海賊版販売店への集中対応を現地捜査機関に要請し、昨年11月には、海賊版のシンボルタワーと目されていた台北市の商業ビル「光華商場」内の海賊版販売店2店舗の摘発が実施され、約6,000枚の海賊版を押収、両店舗の経営者2名が逮捕された。同年12月には台湾警察を指揮監督する行政機関「内政部警政署」を後藤健郎・専務理事が訪問し、この摘発への感謝状を贈呈する一方、「巧妙化」する侵害行為への対応も進めた。その結果、海賊版販売のネットオークションへの移行が確認され、今年3月、台中市においてオークション出品者である海賊版販売店を摘発した。その際に製造拠点が初めて摘発され、海賊版製造の「工場」として使われていたマンションの一室の家宅捜索等により、合計で7,000枚を超える海賊版が押収された。

中国等の東アジアのUGCサイトにおける無許諾アップロード排除を目的とした「自動コンテンツ監視・削除センター（仮称）」事業では、昨年度中は7万を超える侵害ファイルについての削除要請を行い、ほぼ100%の削除率を維持した。このほか総務省の実証実験にも参加し、テレビ番組について、日本での放送終了直後からUGCサイトを監視、併せて削除要請を行う体制の有効性を検証した。

2013年度の事業では、

これまでの侵害対策活動を一層深掘りするために、まず国内において、団体やコンテンツ事業者等からの情報集約・共有の機能強化に取り組む。また、対象エリアにASEAN等の東南アジアを加え、日本コンテンツが正規流通を目指すエリアについて、侵害対策も併せて実施する方針だ。また、中国においても、正規流通の促進を具体的にサポートすることを目指し、現地での著作権認証を行う「外国著作権認証機構」の資格取得を予定している。

なお、CODAの第3期役員は以下の通り（任期は2015年度の定時社員総会終了時まで）。

（CODA事務局）

代表理事	桐畑敏春	一般社団法人日本映像ソフト協会会長
副代表理事	辻本憲三 北川直樹	一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会理事長 一般社団法人日本レコード協会会長
理事	井上伸一郎☆ 鶴之澤 伸 大多 亮 川城和実 君嶋由紀子☆ 重村博文☆ 竹内成和 難波一弘☆ 布川郁司 松本 悟☆ 吉田力雄	株式会社角川書店代表取締役社長 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会会長 一般社団法人日本民間放送連盟コンテンツ特別部会長 バンダイビジュアル株式会社代表取締役社長 日本テレビ放送網株式会社海外ビジネス推進室次長 キングレコード株式会社代表取締役社長 エイペックス・マーケティング株式会社代表取締役会長 株式会社TBSテレビ取締役 一般社団法人日本動画協会理事長 一般社団法人日本動画協会専務理事・事務局長 一般社団法人日本動画協会副理事長
専務理事	後藤健郎	一般社団法人日本映像ソフト協会専務理事・事務局長
常務理事	鷺見良彦 永野行雄	一般財団法人デジタルコンテンツ協会専務理事 一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構事務局長
監事	増田雅史	森・濱田松本法律事務所弁護士

（☆）は新任



第7回 Aereo vs. 米国放送業界

前回取り上げたAereoの登場により、米国の放送業界はモバイル向け放送への動きを加速させているようです。そこで、今回は米国のモバイル向け放送の動向とAereo登場後の放送業界の動向をご紹介します。

まず、これまでの米国のモバイル向け放送の歴史を簡単に振り返ってみましょう。2006年に開催されたNAB (National Association of Broadcasters) で、Samsungが初めて米国のデジタル放送方式に基づくモバイル放送のデモを行い、翌2007年のNABではLGとHarrisがSamsungとは別のモバイル放送技術を発表しました。これを受けてATSC (The Advanced Television Systems Committee) では、この2つの技術の調整を行い、標準規格作成作業に入りました。その後、2009年10月に規格は完了し、サービス名をMobileDTVとすることが決定しました。これとは別にQualcommはMediaFLOという独自方式のモバイル向け放送サービスを開始していましたが、2011年にサービスを終了しています。

現在、MobileDTVによる放送サービスは、2つのグループが取り組んでいます。一つはFoxやNBCなどの大手ネットワーク12社が共同設立したMobile Content Venture (MCV) です。MCVはDyleというサービス名で、2012年8月から運用開始し、現在は全米の主要都市36市場で91局が参加し、放送を行っています。今年末までには39市場116局が開始する予定とのことです。Dyleを利用できるのはiPhoneとiPadで、80～100ドル程度のミニアンテナとチューナーを内蔵したドングルを購入し、専用のアプリをインストールすれば無料視聴できる仕組みです。Android向けにも提供を予定しているようですが、現在はMetroPCSが提供するSamsung galaxy S Lightray G4のみが利用可能となっています。ニューヨークやロサンゼルス、サンフランシスコなどもサービス提供エリアとなっていますが、市内全域が視聴可能というわけではなく、郵便番号でサービスエリア内か否かを確認する必要があるそうです。

もう一つは中小のローカル局など30社が参加して、2010年に設立したMobile500 Allianceです。MyDTVというサービス名で、今年1月からシアトルとミネアポリスで試験放送を開始しています。ドングルを利用してiPadとiPhoneで無料で視聴できることなどはDyleと同様です。MyDTVでは、単なるテレビ放送の受信だけでなく、DVR (録画) 機能やアプリによる放送番組の一時停止や巻き戻し、早送りなども提供されているようです。

このように米国のモバイル放送は、サービスを開始したばかりで普及には、まだしばらく時間がかかるとみられています。また、放送事業者側からみてもモバイル放送は、新たな広告収入の道を開くものである反面、利用が広がらない間は放送のための出費の負担に耐えなければならないといえるでしょう。また、大手ネットワークが参加するDyleですら、サービス提供エリア内でも受信可能な地域が限られたり、提供されるチャンネル数も

1～7とエリアごとに異なるのが現状です。Aereoが合法的なサービスとなった場合には、Aereoが大きな競争相手としてMobileDTVの前に立ちふさがるかかもしれません。

次にAereoのサービス差し止め失敗したネットワークなどが、どのような対応に出ているのかをみていきたいと思います。

今年4月初めにAereoに対するサービス差し止め訴訟で、Aereoが勝訴した結果、最初にAereo対策を明らかにしたのはFoxでした。万一、Aereoのサービスが合法と認められた場合には、Foxは無料放送を停止し、ケーブルや衛星放送向けの有料放送に全て移行することを検討することを明らかにしています。続いて、CBSもFoxに追随する姿勢を明らかにしています。両社は有料放送化によりAereoにストリーミング配信させない方法をとろうとしています。一方、Time Warner Cableは、これまで家庭内のネットワークに限定したサービスとして提供してきたTV Everywhereを家庭外でも利用できるようにし、外出先のモバイル端末でケーブルコンテンツを視聴できるようにしています。また、ABCは、これまで見逃しテレビ向けに提供してきたABC Playerで放送の同時視聴を可能にするアップデートを行ない、ニューヨークとフィラデルフィアで試験提供を開始しています。有料放送への移行を検討するとしていたCBSは、アイオワでモバイル機器向けのストリーミング配信サービスを提供するSyncbakに出資を発表し、Aereoへの対抗策とするようです。

これらのネットワークやケーブルの動きに対し、Aereoではサービス料金の値下げで攻勢に出ようとしています。これまでは月額12ドルでストリーミング視聴と40時間分のDVR利用を提供していましたが、新料金では月額8ドルでストリーミング視聴と20時間までのDVR利用としています。また、これまで通り月額12ドルの料金では60時間分のDVR機能を提供するとしています。

その一方で、ネットワークや独立局が、地上波の無料放送を停止し有料放送に切り替える姿勢を見せ始めたことに対し、公共放送の在り方として相応しくないと考えたMark Warner上院議員は、もし放送局が無料放送からコンテンツを引き上げるならば、放送免許を取り上げるべきだと議会で主張したそうです。

このようにAereoに対する著作権違反訴訟によるサービス差し止めの仮処分申請が認められなかったことにより、放送業界には大きな影響を及ぼし始めているようです。その動きは、放送行政をも巻き込み米国の放送の在り方も変える可能性をはらんでいるようです。

(※文中の意見、見解は執筆者個人のものです。)



リレーエッセイ

101

●深町 徳子 氏(株式会社ポニーキャニオン 経営管理本部 映像契約部長)

「ペットへの詫び状」

幼いころから小さな動物が好きで、犬猫を始め二十日鼠、金魚など様々ないきものを大した覚悟もなく飼ってきました。

まずは、小学校一年の頃、1日だけ飼った子犬。同じ小学校に通う姉の同級生の家にスピッツの子犬が産まれたという話を聞きつけ、そんなに親しいご家庭でもなかったのに、姉妹で見に行ったのがきっかけで、気がついた時には姉と私で一匹ずつ白くてムクムクの子犬を抱っこして家路についていました。幸か不幸か母は出掛けており、私たち姉妹は犯罪者のような目つきで自宅に入り、子供部屋のあった二階の押し入れに子犬二匹を押し込めて、何食わぬ顔で夕飯を食べました。姉妹が窮状に陥ったのはその日の夜。押し入れの中でキャンキャン泣き始めた子犬を黙らせようとお布団の上で牛乳を飲ませようとしたところ牛乳瓶を倒してしまい、大変なことに…。その日の夜は殆ど眠れず、翌朝、子犬を押し入れに閉じ込めたまま登校しました。当然、母に見つかり、大目玉をくらい、その日の夕方、元のご家庭に返しに行きました。

次は、小学校三年ころに飼った二十日鼠。お正月休みにペットショップをのぞいたところ、真っ白なネズミが回し車で活発に遊んでいるのを見、すっかり虜になってしまい、もらったばかりのお年玉で一匹買いました。「寒さに弱いので暖かくしてあげてね。」という店員のアドバイスを忠実に守ったつもりが、タオルを巣箱に敷いただけでは不十分だったらしく、氷が張ったある日の朝、二十日鼠はかちかちに固まり、冷たくなっていました。電気アンカ(年配の方はご存じですね。)の上に直接乗せるという、乱暴な蘇生を試みた結果、信じがたいことにひげが震えたかと思うと手足を動かし始め、30分後には何ものなかったかのように動き始めました。今考えると仮死状態から蘇生したのだと思いますが、愚かな小学生だった私は、一度あの

世に行った二十日鼠が甦ったと驚きました。この時の蘇生法があまりにも乱暴だったせいか、結局、その後長くせず旅立ってしまいました。

また、小学生高学年の時、デパートの玩具売り場で派手に展開していた「シーモンキー」という不思議な生き物の飼育セットに猛烈に興味を惹かれたこともありました。プラスチックのタンブラーの中で生活する小さな人魚のように描かれたイラストは今も鮮明に覚えています。解説書には一匹一匹顔が違うので名前をつけようとか、子供が生まれて増える等わくわくするような文言が書いてありました。お年玉で懐が暖かい私は、親の反対を無視し購入しました。この「シーモンキー」は、プランクトンの一種で、乾燥状態の卵を水に入れてかき混ぜると、誕生するというだけで、決して人魚のように成長しませんし、顔の違いなど解る筈もなく名前をつけるなど夢のまた夢でした。その後、タンブラーの中では、大きくなった何匹かが腰のあたりに大きな卵の袋をつけ始め、可愛いというより不気味でした。最初に興味を持った時のイラストの可愛くて不思議な生き物といったイメージと卵袋を下げて泳ぎまわる姿のギャップが大きく、段々と興味が薄らぎ、あのタンブラーがどうなったかは、記憶にありません。

最後に猫について。現在4匹目の猫を飼っています。典型的なマンション猫で、動物病院に行く以外、外に出たことも無く、毎日のんびりと暮らしています。なんの苦勞もなく毎日寝て暮らしている今の猫を眺めつつ、私の目に留まったばかりに被害を被った過去のペット達の面影をたどりながら、恨まないでねと呟いています。どの動物達も友人の少ない私の相手をしてくれました。この場を借りて、私の友達になってくれたペット達にお礼とお詫びを述べたいと思います。

▼日誌に見る協会の動き

【4月】

2日 第322回定例理事会
3日 マーケティング委員会
5日 著作権部会
8日 違法対策部会
9日 総合連絡委員会
11日 権利者団体対応委員会
12日 業務使用対策委員会

15日 ビデオソフト市場規模及びユーザー
動向調査 会員社向け説明会
17日 映像配信統計調査準備WG
17日 ビデオソフト市場規模及びユーザー
動向調査 記者発表会
19日 第37回JVA懇親ゴルフ会
(成田ハイツリー)
23日 ACA 企画広報部会

24日 国際部会

【5月】

8日 マーケティング委員会
10日 著作権部会
14日 第323回定例理事会
14日 関西地区連絡協議会 14日～15日
15日 法制度委員会

17日 業務使用対策委員会
20日 広報委員会
21日 総合連絡委員会
27日 還流BD検討会議
27日 eメディア部会運営委員会
30日 業務部会幹事会

統計

2013年3月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	3 月 実 績								1 月 ～ 3 月 の 累 計								
	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同月比	新作数	前年 同月比	売上金額の 増減社数	金 額	構成比	前年 同期比	数 量	構成比	前年 同期比	新作数	前年 同期比
販売用	11,106	66.8%	110.6%	3,547	59.4%	117.4%	576	98.1%	増 減 14社 15社 その他 2社	25,562	62.7%	98.2%	8,047	56.9%	100.4%	1,422	101.6%
レンタル店用	5,419	32.6%	81.6%	2,414	40.4%	74.9%	707	103.1%		14,921	36.6%	81.3%	6,024	42.6%	76.6%	1,829	85.1%
業務用	91	0.5%	43.1%	14	0.2%	71.4%	31	182.4%		299	0.7%	80.8%	83	0.6%	73.6%	63	48.5%
DVDビデオ	16,616	67.0%	98.4%	5,976	79.5%	95.4%	1,314	101.9%		40,782	68.2%	91.2%	14,155	78.2%	88.5%	3,314	90.1%
販売用	7,908	96.7%	152.0%	1,387	90.2%	136.7%	282	142.4%	増 減 18社 10社 その他 3社	18,017	94.5%	115.2%	3,546	89.9%	114.2%	634	117.6%
レンタル店用	269	3.3%	88.8%	149	9.7%	73.6%	58	64.4%		1,034	5.4%	125.0%	395	10.0%	88.5%	139	94.6%
業務用	4	0.0%	—	1	0.1%	421.1%	0	—		7	0.0%	233.3%	3	0.1%	151.4%	0	0.0%
ブルーレイ	8,181	33.0%	148.6%	1,537	20.5%	126.3%	340	118.1%		19,058	31.8%	115.7%	3,944	21.8%	111.0%	773	112.5%
合 計	24,797	100.0%	110.7%	7,513	100.0%	100.4%	1,654	104.8%		59,840	100.0%	97.8%	18,098	100.0%	92.6%	4,087	93.6%

◎今月の売上報告社数……31社(*前年同月の報告社数31社) 無回答社……2社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。

2013年4月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	4 月 実 績								1 月 ～ 4 月 の 累 計									
	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同月比	新作数	前年 同月比	売上金額の 増減社数	金 額	構成比	前年 同期比	数 量	構成比	前年 同期比	新作数	前年 同期比	
DVDビデオ	販売用	11,155	69.6%	134.9%	3,499	61.5%	117.8%	546	87.9%	増 減 9社 22社 その他 1社	36,717	64.6%	107.1%	11,546	58.2%	105.1%	1,968	97.4%
	レンタル店用	4,796	29.9%	75.8%	2,165	38.1%	76.9%	562	100.2%		19,717	34.7%	79.9%	8,189	41.3%	76.7%	2,391	88.2%
	業務用	79	0.5%	56.4%	23	0.4%	89.0%	13	185.7%		378	0.7%	74.1%	106	0.5%	76.4%	76	55.5%
		16,030	72.1%	108.8%	5,687	79.2%	97.9%	1,121	94.3%		56,812	69.2%	95.5%	19,841	78.5%	91.0%	4,435	91.1%
	販売用	5,837	94.2%	111.3%	1,351	90.5%	113.2%	266	87.8%		23,854	94.5%	114.2%	4,897	90.1%	113.9%	900	106.9%
ブルーレイ	レンタル店用	298	4.8%	61.7%	127	8.5%	91.8%	47	59.5%	増 減 13社 15社 その他 4社	1,332	5.3%	101.7%	522	9.6%	89.3%	186	82.3%
	業務用	60	1.0%	—	15	1.0%	1792.3%	5	250.0%		67	0.3%	2233.3%	18	0.3%	633.1%	5	166.7%
		6,195	27.9%	108.2%	1,493	20.8%	112.0%	318	82.8%		25,253	30.8%	113.7%	5,437	21.5%	111.3%	1,091	101.9%
合 計	22,225	100.0%	108.6%	7,180	100.0%	100.5%	1,439	91.5%		82,065	100.0%	100.5%	25,278	100.0%	94.7%	5,526	93.0%	

◎今月の売上報告社数……32社(※前年同月の報告社数31社) 無回答社……1社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。

「主要耐久消費財普及率」

調査項目	平成 15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3	21.3	22.3	23.3	24.3	25.3
カラーテレビ	99.4	99.0	99.3	99.4	99.5	99.7	99.4	99.5	99.6	99.4	99.3
ブラウン管			97.4	96.2	92.9	88.3	83.5	71.6	47.3	24.5	19.0
薄型(液晶、プラズマ等)			11.5	19.8	29.4	43.9	54.9	69.2	87.9	95.2	96.4
ビデオカメラ	39.1	42.0	39.6	40.2	41.2	41.4	41.0	40.0	39.9	40.2	41.5
デジタルカメラ	32.0	51.8	46.2	53.7	58.9	66.0	69.2	71.5	73.3	76.3	77.0
光ディスク(*)プレーヤー・レコーダー	25.3	35.4	49.0	61.1	65.1	71.7	73.1	69.5	72.8	75.3	77.7
DVDレコーダー(再生専用機)			28.8	32.5	34.5	38.3	38.7	38.6	38.0	35.6	34.8
DVDレコーダー(再生録画兼用機)			28.7	40.0	43.2	48.7	51.2	46.2	45.4	44.3	45.1
ブルーレイ(プレーヤー・レコーダー)								15.2	27.1	35.7	39.0
パソコン	63.3	65.7	64.6	68.3	71.0	73.1	73.2	74.6	76.0	77.3	78.0
VTR	81.4	82.6	(**)								
携帯電話	83.3	85.1	82.0	85.3	88.0	90.5	90.2	92.4	92.9	94.5	95.0

内閣府経済社会総合研究所 「消費動向調査」 平成25年3月末現在より

(※) カーナビ、パソコン、ゲーム機などに付属のものは含まない (**) 17.3以降は調査なし

一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2013年6月1日現在

■ 正会員(33 社)

(株)アニプレックス
アミューズソフトエンタテインメント(株)
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・マーケティング(株)
(株)エスピーオー
(株)NHK エンタープライズ
(株)角川書店
ギャガ(株)
キングレコード(株)
ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)
(株)小学館
(株)ショウゲート
松竹(株)
(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
(株)第一興商
TCエンタテインメント(株)
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
(株)東北新社
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
(株)バップ
(株)ハピネット
パラマウント ジャパン(同)
バンダイビジュアル(株)
ビクターエンタテインメント(株)
(株)ポニーキャニオン
(株)メディアファクトリー
ユニバーサルミュージック(同)
(株)よしもとアール・アンド・シー
ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

■ 協賛会員(19 社)

(株)一丸印刷所
(株)IMAGICA
カルチャー・コンビニエンス・クラブ(株)
(株)キュー・テック
(株)金羊社
(株)ケンメディア
(株)ジャパン・ディストリビューション
システム
(株)星光堂
ソニー PCL (株)
大日本印刷(株)
東芝デジタルフロンティア(株)
東洋レコーディング(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
ビクタークリエイティブメディア(株)
(株)富士フイルムメディアクレスト
(株)ムービーマネジメントカンパニー
メモリーテック(株)